

ノヴィーも新章へ
2台のピアノで
チェコと松江の
キズナをさらに深める



松江市役所のそばにあった旧田野医院に眠っていたチェコ製のアップライトピアノ「ノヴィー」を2014年から再生。



「ノヴィー」を通じて、チェコで出会ったグランドピアノ「ホリー」。
チェコから海を渡って、現在松江で再生中。

チェコと松江の音楽交流支援のお願い

2014年「ノヴィー」がつないだチェコと松江のキズナは10年を迎え、定期的に続けてきたノヴィーコンサートを通じて、たくさんの方々との縁を結んでくれました。

そして今年、チェコの偉大な音楽家ベドジフ・スメタナの生誕200周年を記念して開催される「チェコ音楽年」が始まる中、チェコとのキズナをさらに深めるグランドピアノ「ホリー」を仲間に迎え入れました。現在、「ホリー」の修復のための資金が必要で支援をお願いしています。

ノヴィーが結んだチェコとのキズナの新たな象徴となるピアノ「ホリー」

ホリー先生との出会い、新たなキズナ

2019年、「ノヴィー」再生からつながった縁で、ノヴィープロジェクトメンバーがチェコ共和国ブルノ市を訪れ、チェコ国立ヤナーチェク音楽アカデミーのピアノ教授ウラディミール・ホリー先生にお会いしました。先生が「ノヴィー」と同じコッホ・コルゼルト社製のグランドピアノをお持ちだったからです。そして、ホリー先生のご厚意により、「ノヴィー」の新たな仲間として譲り受けることになったそのピアノは「ホリー」と名付けられ、今年1月に海を渡って松江にやってきました。

「チェコ音楽年」に更に深めるチェコとのキズナ

今年は「チェコ音楽年」。この機会を活かし、これまで繋いできたチェコとのキズナを更に深めようと、譲り受けたグランドピアノ「ホリー」と「ノヴィー」を使ったイベントを11月に予定しています。しかし、「ホリー」を演奏するためには修復が必要で、その費用の寄附を広くお願いしています。

 寄附の方法については裏面をご覧ください